

## 演題 CREATION OF PERFECT HARMONY

審美の基準は人それぞれ異なる価値観を持っており、その数は無限である。

多数歯におよぶ審美は確固としたゴールがないために、術者の押しつけになってしまうことがあり自己満足と言わざるを得ない。

審美とは歯科医師、患者と共に真に美しい物を探し求めることが大切だと常に感じている。

では少数歯補綴、シングルセントラルのケースなどはどうであろう。

そこには確固とした審美が存在し、もしその審美にたどり着けないのなら、患者の幸せは訪れないであろう。

我々歯科技工士にとって少数歯補綴は、たとえFunction BiologyそしてStructureを確立したとしても、審美不良いわゆる天然歯とポーセレンクラウンの色調が合わないという理由だけで再製作となる難しい仕事であることは間違いない。

臨床現場において天然歯色調の再現を実現するためには、画像評価、器械測色評価、理論構築を伴ったシェード選択、これらをシステム化することがシェードミスマッチを飛躍的に減少させ、多様な材料でも正確な色調再現が可能になると考える。

なかでも飛躍的に進歩したデジタルカメラにより、画像評価は格段に信頼できるものとなった。今回は臨床現場で使用するための画像の評価方法とそれを活用したセラミック技工を紹介したい。

## 略歴

- 1997年 島根県歯科技術専門学校歯科技工士科卒業
- 1998年 早稲田歯科技工トレーニングセンター 16期デイクラス卒業
- 1998年 株式会社 ケイテックス 入社
- 1999年 ツイン春次クリニック歯科 入局
- 2001年 大阪セラミックトレーニングセンター 16期週末コース卒業
- 2008年 あさの塾 5期卒業
- 2008年 Lucent Dental Laboratory 開業
- 2008年 新大阪歯科技工士専門学校専攻科非常勤講師
- 2010年 KUWATA Collage 110期 卒業
- 2013年 西村塾大阪5期 卒業

(株) 松風テクニカルアドバイザー

新大阪歯科技工士専門学校専攻科非常勤講師

早稲田歯科技工トレーニングセンター特別講師

マスターセラミストスクール非常勤講師